

タイトル		Would You Rather...			
著者（文・絵）		John Burningham			
出版年		1978 年	出版社	Red Fox	
翻訳版		『ねえ、どれが いい?』まつかわ まゆみ訳、評論社 2010 年			
総語数	320 語	ページ数	32 ページ	YL レベル	1.3
あらすじ					
幼い子どもに読み聞かせをする親子に最適な一冊です。 まず、絵本を開くと、年のころ小学校 1 年生ほどの男の子が、イギリスならどこにでもありそうなレンガづくりの家から出てきます。すると、「君のお家が大水に囲まれちゃうのと、雪に囲まれちゃうのと、ジャングルに囲まれちゃうとしたら、どれがいい?」とたずねられます。質問はさらにエスカレートして、「ねえ、坊や」、「象さんがお風呂のお水を飲み干しちゃうのと、鷺さんが夕ご飯をさらっていっちゃうのと、豚さんが君の服を着ちゃうのと、カバさんが君のベッドに寝ちゃうのだとと、どれがいい?」どんどん、坊やは突拍子もないナンセンスな質問攻めにあります。「ねえねえ、坊や」、「どれがいい?」 読み聞かせを聞いている子どもはすっかり、この坊やになった気になるでしょう。私たち大人の読者もページをめくりながら、この男の子に質問を投げかけつつ、自分が坊やの気持ちになって「どうしよう...」「どれも選べない...」と童心に戻って楽しめる一冊です。					
紹介					
作者の John Burningham (1936–2019) については、本 HP の絵本紹介欄 <i>Come away from the water, Shirley</i> をご覧ください。本作も、他の作品同様にユーモアたっぷりです。<i>Come away from the water, Shirley</i> の少女は海辺で空想の世界に遊んでいますが、この絵本の坊やはおそらく自分の家でふと仮想の出来事を考えたら、その空想がどんどんと拡がり止らなくなってしまったのでしょう。誰でも、子どもの頃、空に浮かぶ雲を眺めて、「あの雲はヒツジさん」、「この雲はうさちゃん」、「ヒツジとウサギが合体して耳の長い羊になった!」などと、延々と空想の遊びをしたことがあるでしょう。そんな、楽しい子どもの頃の気持ちを思い出しつつ、would rather の理解を深めることができる肩のこらない絵本です。どの作品でも、子ども心を忘れない Burningham に感心します。					
指導ポイント・授業活用例・学生の声など					
【指導のポイント】					
助動詞 would rather					
この絵本には全篇にわたって、どちらがよいか選択を問う質問が矢継ぎ早に出てきます。					

would rather + 動詞(原型)

Would you rather be made to eat spider stew (,) slug dumplings (,) mashed worms, or drink snail squash (?)

う～ん、どれも虫唾が走ります。どれも嫌ですね。でも、1つ選ばなければならないのなら、私は...

I would rather eat spider stew than ～ 「...するくらいなら～するほうがまだましだ」

「なめくじ団子、マッシュド・ミミズを食べるか、カタツムリ・スカッシュを飲むくらいなら蜘蛛シチューを食べるほうがまし (涙目)」

絵本には、以下のように would rather + S+V (過去形) もあります。

Would you rather (appreciated it / wish if) your dad did a dance at school or your mum had a row in a café (?)

(どちらかを選ばなければならないとしたら)「君は父さんに学校でダンスをしてもらいたい? それとも、母さんにカフェで大喧嘩してもらいたい? (赤面)」

did や had といった過去形を使った、想像上の状況を問う仮定法です。そのため、will rather ではなく、would rather と助動詞の過去形が使われます。自分の親がこんなことをしたら、坊やは学校にも町のカフェにも、もう行きたくなくなりますね。

【授業活用例】

Lesson 1

- ① Would you rather...? を復習または導入する。
- ② 本作、各ページの文字部分を付箋などで隠し、書画カメラで見せる。
- ③ 各イラストの文字部分を would rather を使って、ペアで考える。
- ④ 付箋を外して、原文を見せる。
- ⑤ 絵本を通して読む。
- ⑥ ペアで絵本中の質問を互いに尋ねて答える。
- ⑦ 各自、Would you rather～? を使って級友に聞いてみたいことを一つ考える。できるだけナンセンスな質問にする。
- ⑧ ペアで質問しあう。どちらがよりナンセンスか比べる。選ばれた人同士で新たなペアになり、さらに質問しあう。最後の一人になるまで繰り返す(勝ち抜き戦ゲーム)。優勝者には、ユーモア賞として「何の役にも立たない!」プレゼントを贈る。

※時間的余裕があれば、グループでオリジナルの絵本 *Would You Rather...* を創作するのも一興です。